



## オーストラリア エアーズロック



世界遺産シリーズ vol.23

W O R L D H E R I T A G E

〈エアーズロック〉ウルルカタ・ジュター国立公園内にある世界最大級の一枚岩。公園名の「ウルル」とはアボリジニの言葉でこの「エアーズロック」のこと。太陽の傾きとともに岩肌がゆっくりと色を変えていく様はまさに圧巻。（写真提供：オーストラリア大使館）

2003

No.84

SUMMER

やあ!特集 在ブラジル栃木県人会創立45周年記念 『移住』

TIA NEWS

TIA NEWS

TIA NEWS

TIA NEWS

TIA NEWS

8

AUGUST

とちぎで暮らして… アラン フォンフォウカオ さん

あつまれ!地球人 リサイクル運動友の会

ようこそとちぎへ 栃木県海外技術研修員

心に残る私の写真 ケニア 吉田 勉さん

国際協力ミニ辞典 「スタディツアー」



財団法人栃木県国際交流協会  
Tochigi International Association

ホームページ ■ <http://tia21.or.jp> メールアドレス ■ [tia@tia21.or.jp](mailto:tia@tia21.or.jp)

# とちぎでくらして…Living in Tochigi

このコーナーでは在県外国人に体験談や日ごろの考えなどを話してもらいます。



**アラン フォンフォウカオさん (22歳)**  
Alain Phomphoukhao

## プロフィール

オーストラリア・メルボルン出身。両親はラオスからの移民。英語学校に勤務し、英語を教えるこだわりは大。宇都宮市在住。

ーこんにちは。初めてお会いして、日系人の方かと思いましたが。  
**アラン** 両親がラオスの出身なのでそう見えるのかもしれませんが。オーストラリアは多民族国家で、様々な人種がひしめいています。この点が日本と全く違うところで、肌や髪の色が違う人が周りにいることがごく自然なんです。だから私がアジア系だといって学校でいじめられることもありませんでした。



▲友達には恵まれている。この日はお祭りに参加

ー日本で英語を教えるきっかけは何でしたか。

**アラン** 日本には昔から住んでみたいと思っていました。大学卒業後、運良く英語学校の採用が決まり、派遣先には迷わず日本を選びました。先進国である日本の生活は、快適で安定しており、西洋の文化圏にはない新鮮さも楽しんでいます。栃木県の人がどう思うか分かりませんが、こ



▲昨年のアランさんの誕生パーティ  
(前列左から4番目がアランさん)

ちらは静かでとてもいい環境で、退屈だと思ったことは一度もありません。

ー今はどのようなことに興味がありますか？

**アラン** 私はとにかく人と話しをす

ることが大好きです。プライベートでは、英語を教える代わりに日本語を教えてもらうといういわゆるランゲージエクスチェンジの相手は7人いて、ほぼ毎日違う日本人と言葉を通しての交流をしています。人は皆、それぞれ違う世界を持っていて、背中に背負っているものもまた様々です。人と話すことが好きなのは、話して初めて分かるその人の内面を知り、自分もそこから何かを学び、成長することができるからなんです。

ーそんなアランさんには日本人はどう見えますか。

**アラン** 日本人はお互いに尊重し合うので、自分があまり気に入らなくても、相手の言うことに合わせて我慢しているようですね。オーストラリアでは、グループで、話し合う時など、構わず自分の主張を言い、そこから互いに妥協点を見つけます。誰か一人が我慢するのではなく、みんなが少しずつ我慢するという構図ですね。

ー最後に今後の抱負を聞かせてください。

**アラン** しばらくは、ここに腰を据えて頑張っていこうと思っています。趣味のクラシック音楽を英語の授業に取り入れるなど、新たな挑戦もしてみようと思っています。

## あつまれ地球人 リサイクル運動友の会

1987年に「リサイクル運動友の会」という活動を始めて、現在までに宇都宮、小山、足利などでフリーマーケットの開催や運営をしています。今日の問題は深刻化し、ダイオキシンや衣食住のゴミ等、私達にできることがあるのではないかと集まった仲間です。まず、資源物の再利用や不要となったモノのリサイクルを地域に広めたり、地域住民との交流を大切にしながら、環境への手助けもしようと始まりました。

フリーマーケットの参加料などの収益金や県内企業や学校等から寄贈された不用品を東南アジアに贈っています。



▲フィリピンで井戸掘り事業にも協力

活動範囲は、タイ、ネパール、ベトナム、バングラディッシュ、フィリピンと多岐に渡りますが、現在は、

フィリピンのピナツポ山の20世紀最大規模とも言われる大噴火の被害を受けた「アエタ族」に重点的に援助活動を行っています。彼らは山から降り、近代的な暮らしに適応で



▲フィリピンで井戸掘り事業にも協力

きななかったり、貧困により餓死するケースが後を絶ちません。国から提供された住宅は簡素で狭く、食料援助はすでに打ち切られているため、生活再建のめどは全く立っていません。

私達は井戸掘りや学校、研修所、果実栽培、販売所の建設などを通し、彼らの自立援助のために今後も活動が続けたいと思っています。

また、フィリピン政府などから表彰されたり、現地マスコミからも取り上げられ、私達の励みになっております。

今年度は彼らの養鶏養豚技術を生かし、鳥と豚の生産を行い、将来的には販売まで行っていこうと思っています。

連絡先 リサイクル運動友の会 代表 高倉良司

☎028-648-8756



## 平成15年度 栃木県 海外技術研修員



▲知事表敬

今年も海外から、日本の先進技術を学ぶため栃木県に研修員が集まりました。  
6月4日（水）に5カ国5名の研修員が入国し、日本語の特訓後、本格的な技術研修が始まりました。

- ①氏名 ②ニックネーム ③年齢 ④推薦機関 ⑤研修科目・研修機関  
⑥好きな食べ物 ⑦嫌いな食べ物 ⑧趣味 ⑨研修で興味のあること



▲日本語の先生と



- ①ソブド・オユントヤー ②オユンナー ③44 ④国際協力事業団 ⑤幼児保育・（社福）幸  
倫会陽西保育園 ⑥ボーズ（羊肉の肉まんのようなもの）⑦辛いもの ⑧踊り、花を飾るこ  
と ⑨モンゴルでは入園年齢が人によって異なるなど日本と大きく違う点も多いので、幼稚  
園の仕組み全体を知りたい。

### モンゴル

- ①モハメッド・シャハダット・ホセイ・チョウドリー ②シャハダット ③35 ④国際協  
力事業団 ⑤小学校教育・栃木県総合教育センター ⑥マンゴー、パパイア ⑦馬肉 ⑧読書、  
フットボール、クリケット ⑨日本文化と小学校教育のシステム。

### バングラディッシュ



- ①ベンソン・バンダ ②バンダ ③32 ④国際協力事業団 ⑤理科教育・県立清陵高等学校  
⑥チキン&チップス、シマ（ザンビアの主食でとうもろこしの粉を練って火にかけたもの）、  
すきやき、熱〜いそば ⑦豚肉 ⑧コンピューター、ドライブ（バイク、自動車、トラクター  
など何でも）、チェス、バレーボール、バドミントン、音楽鑑賞 ⑨教育理論の実践への応用。  
日本の文化・先進技術。

### ザンビア

- ①井上 サンドラ 千恵子 ②サンドラ ③26 ④在伯栃木県人会 ⑤ホテル業務・宇都宮グラ  
ンドホテル ⑥チーズ、ピザ、フェイジョアーダ（豆の煮込み料理）、カレー ⑦わさび、納豆  
⑧読書、ソフトボール、ウィンドウショッピング ⑨ホテルでの接客方法、ホテル用語、経営、  
観光客誘致のためのインフラ整備。

### ブラジル



- ①佐藤 幅上 リリアナ エリカ ②リリアナ ③35 ④在ペルー栃木県人会 ⑤インテリアデザイ  
ン・Dr. リフォーム・サンセイ インテリアデザイナー級建築士事務所 ⑥すし、中華やさそば、  
ピザ ⑦チャンファイニータ（牛の肝臓の煮込み）⑧音楽鑑賞、香水の小瓶の収集、ドライブ、チェ  
ス ⑨日本の技術。日本の建築を学び帰国後は応用していきたい。

### ペルー

# 在ブラジル栃木県人会 創立45周年記念

# 『移住』

## 日本人の海外移住

- 1868年  
(明治元年) ハワイの砂糖プランテーションやゴムへ約200名の日本人が移住する。劣悪な労働環境等問題もあったが、一応「移民元年者」と呼ばれる。
- 1885年  
(明治18年) ハワイ王国と日本の二国間条約により約940名の「官約移民」(いわゆる国家レベルでの移民)がハワイへ出国。
- 1894年  
(明治27年) 「移民保護規則」制定。移民が渡航後に不利なことがないよう救助する法。この年から移民取扱業務を民間会社に委託。
- 1897年  
(明治30年) 元外務大臣榎本武揚率いる28人の日本人がメキシコ チアパス州に入植。
- 1908年  
(明治41年) 「日米紳士協定」により日本人移民がアメリカ合衆国への入国を制限される。



▲旧神戸移住センターにて。出航前に移住に備え研修を受ける。船旅に慣れるようセンター内の部屋は船室のような造りになっている。

- 1914年  
(大正3年) 第一次世界大戦。
- 1925年  
(大正14年) 政府によるブラジル移住者への渡航費補助開始。
- 1941年  
(昭和16年) 第二次世界大戦により移住が一時中断。移住先で多くの日本人が、強制退去あるいは収容などの犠牲を強いられた。

- 1952年  
(昭和27年) 南米移住の再開。
- 1960年代  
(昭和35年～44年) 日本の経済復興とともに日本の南米移住は次第に減少。

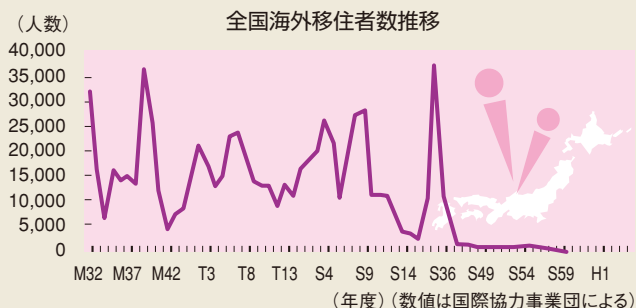


▲移住者が利用した雑貨店(再現)

- 1990年 日系人の就労が合法化されるという入管法が改正。日本からの移住者の子や孫、いわゆる2世・3世の日本への就労が本格化する。

## 移住者の推移

国際協力事業団の統計(全国)によると、戦前は、655,661名、戦後は、73,035名が海外へ移住している。下の図のとおり時代背景とともに、年により人数の大きな変化が見られる。



注)戦後の統計は、国の事業により(国が渡航費用を負担するなど)送り出された人数

また本県からの移住者数は、戦前戦後合わせて1,672名で、ブラジル、パラグアイ、アルゼンチンなどに移住している。特にブラジルへは全体の約9割の人が移住先としている。全国的に見て本県の移住者数は、最少の奈良県に次いで少ない数値となっており、最も多く移住した県は、広島県、次いで沖縄県となっている。

## ブラジル在住の一世・二世たち

最も多くの人々が移住したブラジルに、栃木県出身者で作った「在伯栃木県人会」がある。会員の一世・二世に話を伺った。

## 栃木県人会にとって大切なこと

坂本アウグスト会長(二世・57才)



▲会長の坂本アウグストさん 県人会の前身は「栃の実会」といって1958年(昭和33年)に設立されました。県人会の会員のほとんどが移住者やその子孫で構成されています。県人会では、移住者である老いた一世を大切に、様々な行動を通して喜んでもらえるよう心がけています。ブラジル社会において、日系人の教育熱心さは、社会の模範とされています。およそ100年近くに渡って築かれた日系人への信用と期待を失わないよう、また日本文化の継承のためこれからの日系人には頑張ってもらいたいです。



日本人の海外移住が始まってから100年以上の歴史が過ぎ、現代の私たちにとっても移住は遠い過去のできごとになりつつある。ブラジル栃木県人会45周年にあたるこの機会に、移住者や日系人に移住や祖国について語ってもらった。

## 移住の経験が私を強くした



山崎敏夫事務局長（一世・72才）

私は、23才の時に単独移住し、コーヒー園で働きました。ブラジル人労働者に囲まれ、ポルトガル語は独学で覚えました。移住して5年後に12ヘクタールの原始林の土地を購入し、妻と二人で伐採し、6年がかりで見事なコーヒー園にしましたが、今思えばあの頃が一番つらい時代だったかもしれません。

私が移住してからというもの、父には血を吐くほどの心配をかけ続けました。28年ぶりに帰国した時の父との再会の瞬間は、今でも鮮明に覚えています。移住して良かったと思うことは、生きるために奮起奮発し、心身共に強くなり、どんなことでもやり遂げる人間になれたことです。苦労や失望もありましたが、今では子供も成長し安定した生活を送っています。



▲コーヒー農家（再現）

## 日本語雑誌発行で充実した日々

永田美知子（一世・71才）



▲ブラジルで日光和楽踊りを披露  
（前列中央が永田さん）

移住先で、主人は農業をし、私は村の子供達に日本語を教えていました。つらい事は多々ありました。子供がひどいアレルギーで夜も眠れない日々、後に始めた養鶏の仕事と日本語教師の仕事が重なり、極度の疲労で喘息

の発作が出るほどでした。病気の改善のため、環境のいいサンパウロ郊外に転居し、喘息は克服できました。これを機に主人と自分達に合った仕事をしようと農家の人々に役立つ雑誌「のうそん」を隔月発行し、34年間続いています。好きな仕事をして生活することに今では幸せを感じています。

一方で心を痛めていることとしては、ブラジル国内の経済悪化のため、日本へ働きに行く日系人の現状です。夫婦が離れて暮らすことによる家庭崩壊、日本での過酷な労働で体を壊した人、日本語もポルトガル語も中途半端になってしまった子供達など、問題は深刻です。 ➤

## 日本の人たちに知ってほしい

ブラジルは距離的には遠い国ですが、そこには130万人もの日系人が住み、日本を熱い想いで注目していることを知ってほしいです。そして移民の歴史に興味を持ってくれればと思います。また、日本に働きに行った隣近所に住んでいる日系人に対して、温かい目で見守り、気持ちを開いて交際して下さいようお願いいたします。



▲和食と現地食が並ぶ移住者の食卓（再現）

## 日系人として正しく美しく

西山マルガレッテ小百合（二世・36才）



ブラジルに住む日系人は、自分を誇張せず、謙遜し、争い事は苦手ですが、一方で信用もされています。働き者で、同郷人同士協力し合います。

日本や日本人のいい話題を聞くと、自分が誉められた気分になるのは、日系人としての誇りがあるからだと思います。私は常に自分の言動には注意し、日系人として正しく美しく生きるよう心がけています。ブラジルはたくさんの人種が集まっていますが、平等な社会で、国土が広く人々は大らかで、気候が良いため、あらゆる作物や果物ができる世界一すばらしい国だと思います。

日本は私の両親の国なので、自分の国のように関心を持っています。でも日本とブラジルのサッカーの試合があればやはりブラジルを応援したくなりますね。

## 新しい移民の一人として

飯塚 泉（一世・29才）



私は5年前に日系三世の夫と結婚し、サンパウロに移住しました。サンパウロは雑多で空気も悪いですが、移民の先輩方のおかげで、和食の食材も手に入り住みやすいところです。日本とブラジルの関係は、日本での日系人の就労人口が多いとはいえ、地理的な遠さもあり、相互理解には時間が必要かもしれません。私自身は、移民の一人として、また日本語教師という仕事を通して、微力ながらブラジルと日本の懸け橋になれるよう、これからもここで頑張れたらと思っています。

### 海外の栃木県人会紹介

|                          |        |
|--------------------------|--------|
| 在伯栃木県人会（サンパウロ市）          | 会員280人 |
| 在アマゾン栃木県人会（トメアス市）        | 会員 47人 |
| 在アルゼンチン栃木県人会（ブエノスアイレス市）  | 会員 70人 |
| 在パラグアイ栃木県人会（フェルナンドデラモラ市） | 会員 30人 |
| 在ペルー栃木県人会（リマ市）           | 会員 30人 |
| 南加栃木県人会（ロスアンゼルス市）        | 会員120人 |

（平成15年6月現在）

写真提供・協力 国際協力事業団 海外移住資料館  
国際協力事業団 中南米部移住企画調整課  
神戸市国際交流課  
在伯栃木県人会

# 心に残る私の写真♡ My Memories・・・

このコーナーでは、日本や海外で異文化に触れたときの写真を、そのときのエピソードとともに紹介します



▲ボランティア活動にも熱心に取組む吉田さん

写真を提供してくれたのは、宇都宮市在住の吉田 勉さん。今年、ピースボートで各国を訪問したとき、特に印象に残っている写真を提供していただきました。

## 爆撃のつめあと

ピースボートで世界一周して、何百枚もの写真を撮りました。南極の氷山、イグアスの滝、ケニアのサファリなど多くの感動の風景に遭遇し、夢中でシャッターを切りました。そんな中で心にぐっさりとつき刺さったのがこの風景。



ケニアのモンバサにある、イスラエル資本のパラダイスホテルが、昨年11月29日にパレスチナによって爆破されました。その現場を見たとき、あまりの悲惨さに言葉を失いました。一国に対し力で対抗しようとしても、武力はテロを呼び、悪循環は永遠に続くでしょう。

武力と金だけの世界政策にアラブの大衆が対抗する限り、国と国との関係がどう変わろうと、悲劇は繰り返されるのではないのでしょうか。

このコーナーで紹介する写真とエピソードを募集しています。詳しくは、協会までお問合せください。(Tel 028-621-0777)

## 情報発信

### 国際協力フォトコンテスト作品募集



国際協力事業団(JICA)では、開発途上国の人々の暮らしや自然、また国際協力の現場での写真を広く募集しています。

#### ■募集テーマ

- ①国際協力…日本人と開発途上国の人々との技術協力や交流の現場を撮影した写真。
- ②一般…開発途上国の自然や文化の中で生きる人々を撮影した写真。

#### ■賞

- ①JICA総裁賞 賞状、賞金10万円他
- ②国際協力賞 賞状、賞金2万円他
- ③一般賞 賞状、賞金2万円他

#### ■募集締め切り

平成15年9月5日(金) 必着

#### ■応募・問合せ先

〒160-0023  
東京都新宿区西新宿6-10-1  
日土地西新宿ビル19階  
(財)日本国際協力センター広報部内  
「JICA国際協力フォトコンテスト」係  
Tel. 03-5322-2541  
Fax. 03-5322-2590  
E-mail photo@jice.or.jp

### 中学生の作文コンテスト作品募集

作文を通して、国際協力や国際社会のあり方について理解を深める目的で、作文コンテスト栃木県大会を実施します。

#### ■作文テーマ

「私たちが拓く未来の国連」、「国連に望むこと」、「日本と国連」のうちの一つ。

#### ■原稿

400字詰め原稿用紙4枚以内。

#### ■賞

優秀賞、優良賞、佳作  
優秀賞作品は全国大会へ推薦。

#### ■募集締め切り

平成15年9月9日(火) 必着

#### ■応募・問合せ先

〒320-0033 宇都宮市本町9-14  
(財)栃木県国際交流協会内  
日本国際連合協会栃木県本部  
Tel. 028-621-0777  
Fax. 028-621-0951  
E-mail tia@tia21.or.jp



## 平成15年度新規留学生の ガイダンス&懇親パーティー



▲一年生へのアドバイスをする先輩留学生

栃木県内の大学、短大および高等専門学校に入学した新規留学生のためのガイダンスを、TIAは(社)栃木県経済同友会と共催で、5月24日(土)に「とちぎ国際交流センター」で開催した。

この日集まったのは、留学生や大学等関係者含めて約120名。栃木県の概要、栃木県国際交流協会の事業、栃木県経済同友会の社会貢献活動事業などの説明に続き、恒例の先輩留学生によるパネルディスカッションが行われた。

パネリストを務めてくれたのは、足利

工業大学のアドミ シャリフさん(インドネシア)、佐野短期大学の朴 元玉さん(中国)。このほか、宇都宮大学のキム アントン レボルドビッチ(ウズベキスタン)は、落ち込んだ時は、来日目的を思い出すこと、快適な環境は与えられるものではなく、自分で作るものだという。白鷗大学の林 蘭瑛さん(韓国)は、韓国語を教える経験が、日本語で説明する能力もつき、日本人とも知り合えて良いことが多いなどと語ってくれた。

ガイダンス終了後は、会場を移し、懇親パーティーを行い、大学間との交流のほか、お国自慢の歌や踊りも披露され大いに盛り上がった。

## 平成15年度国際交流団体連絡会議

去る5月29日(木)に栃木県国際交流協会に登録されている県内の国際交流団体を対象に、とちぎ国際交流センターで連絡会議を行った。参加団体は41団

体。TIAの事業紹介のほか、後半の課題別の分科会では、情報交換や活発な議論が行われた。

## 第3回「わいわい地球っ子クラブ」 ～もっと知ろう!中国～



▲中国結びに挑戦。ちょっと難しい～!

今回は中国をテーマとしたクラブが6月21日(土)にわいわい地球っ子52名が元気に参加した。

中国人の国際交流員の葉さんが、中国を楽しく紹介し、簡単な中国語のあいさつを教えたところ、子ども達の発音の上手さに葉さんが驚く一幕も。伝統の中国結び体験で作ったものは、かわいいお土産になった。

## 国際協力ミニ辞典「○○って何?」

### 今回のテーマ…「スタディーツアー」

スタディーツアーを直訳すると「勉強の旅」となりますが、その名前通り何かを学習するための旅です。「スタディーツアー」と同じような目的の「ワークキャンプ」というものがありますが、「スタディーツアー」は主に見学や視察、現地の人との交流などが中心で、「ワークキャンプ」は植林や井戸掘りなどの作業が中心のものです。どちらも、自分の目で見たり体験などをして、国際協力などについて考えたり、現地の人々との相互理解を目的としています。

NGO主催のものが多くですが、最近は地方自治体や教育機関、宗教団体、旅行業者などさまざまな団体が実施し

ています。対象地域は日本のNGOが多いタイ、フィリピン、ネパールなどのアジア地域が主です。ツアー期間は5～10日間のものがほとんどです。

観光旅行とは異なり、現地事情やNGOの活動現場などを視察したり、現地の団体や人々と触れ合うことができるのが大きな特徴で、参加者はツアー参加後に積極的にボランティア活動に参加したり、将来の進路や職業選択に影響を及ぼすことが多いようです。あるいは、自分の生活を問い直すきっかけになったという人も少なくありません。

実施時期は、春・夏・冬休み中に行われることが多く、中でも夏休みが最も多いようです。近年は国際交流・協力への関心が高まってきたこともあり、スタディーツアーの参加者も増加しています。皆さんも一度参加してみたいはいかがですか?

### JICA国際協力推進員

栃木デスク(栃木県国際交流協会内) 佐藤玲子

朝一番情報満載!!

# 朝生とちぎ

月～金 7:00～8:10

ホームページ <http://www.tochigi-tv.jp>

とちぎTV

とちテレ、ガンバル。

TOCHIGI TELEVISION 5TH ANNIVERSARY

## バスのご用命は当社へ!!

観光・送迎・冠婚葬祭  
視察 etc  
サービスクオリティ  
No.1をめざす  
福祉バスもあります

# マロニエ交通株式会社

料金等問い合わせお気軽に電話下さい。

☎ (028) 689-1661

宇都宮営業所 宇都宮市越戸4-1-26

## ラジオで国際理解 ～世界の家族 ここが同じ！ここが違う！～

栃木県国際交流協会は、栃木県にお住まいの皆さまに、国際理解の情報番組を制作しました。家族の役割、子どもの教育、女性の社会進出、夫婦別姓、生活上の金銭感覚など家族の生活をテーマに、母国と日本を比べながら外国人の皆さんにどんどん語ってもらいます！放送日は次のとおりですので、皆さん是非聞いてくださいね！！

|      |                                                                                                                               |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時  | 9月1日(月)～4日(木) 15:30～15:40<br>*全4回(1回1カ国)                                                                                      |
| 放送局  | 栃木放送(CRT)                                                                                                                     |
| 周波数  | 宇都宮 1530kHz<br>足利 1062kHz<br>那須 864kHz                                                                                        |
| 出演者  | ウィリアム バークさん(アメリカ)..... 9月1日(月)<br>テレジーニャ フスコ 小野さん(ブラジル) 9月2日(火)<br>韓 相栄さん(韓国)..... 9月3日(水)<br>中川 エスペランザさん(フィリピン)..... 9月4日(木) |
| お問合せ | 財団法人栃木県国際交流協会<br>☎ 028-621-0777 (火～土曜)                                                                                        |

## ～フィリピン文化を 体験しよう！～

フィリピン人とフィリピンの言葉や文化を学んだり、デザートを作ったりして楽しく過ごしましょう！！  
皆さんの参加をお待ちしています。

- 主 催** 国際バガサの会  
※栃木県に住むフィリピン人とその家族が楽しく暮らせる社会になるようにとの希望(バガサ)を持って活動するフィリピン人と日本人の団体
- 共 催** (財)栃木県国際交流協会
- 日 時** 平成15年9月20日(土)  
13:00 から
- 場 所** とちぎ国際交流センター  
(宇都宮市本町 9-14)
- 申し込み・問合せ**  
(財)栃木県国際交流協会  
1028-621-0777

## TIA賛助会員募集中！

(財)栃木県国際交流協会(TIA)では、賛助会員を募集しています。皆さまからの賛助会費は、TIAの様々な事業に使わせていただき、地域の国際化に役立てられています。

### 賛助会員むけサービス

- \*TIA機関紙「やあ!」、各種刊行物、イベント情報等ご自宅へ送付
- \*海外のビデオを日本方式(NTSC)に変換
- \*会員証の提示により指定店での割引

詳しくは賛助会員担当までお問合せください。  
TEL 028-621-0777



年会費 個人 3,000円  
団体 10,000円  
法人 30,000円

### <新規賛助会員の方々>

個人：結城つむぎ様、高橋文吉様、高松征雄様、村上順男様、チロンボ・ンゴイ様、シェーン・ダンカン様、加来裕康様、長嶋タラトーン様  
～ご入会ありがとうございます～

財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人(寄付金の損金算入等の課税特別措置)の認定を受けています。当協会の事業にご賛同くださる各企業、団体等のご出捐をお願いいたします。

## TIAご案内図



編集・発行 財団法人栃木県国際交流協会  
住所 〒320-0033 宇都宮市本町 9-14 とちぎ国際交流センター内  
TEL 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)  
FAX 028-621-0951  
業務時間 8:30～17:15  
休館日/日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日

**ツリストのお得な旅行費用積立プラン**  
**旅したくキャンペーン実施中!!**  
平成15年7月1日から12月27日まで

●サービス額でふくらむ旅行資金

毎月払いコース  
お支払い額  
サービス額  
ツリスト旅行券

一括支払コース  
お支払い額  
サービス額  
ツリスト旅行券

●カンタン支払  
手間いらずの選べる4コース  
お支払いコースは、①毎月払い②ボーナス払い③ボーナス併用払い④一括払いの4コースから、お選びいただけます。

●ふくらむ資金  
満期にはおトクな旅行券  
積立終了後、サービス額をプラスしたツリスト旅行券は、1,000円券、5,000円券、10,000円券の3種類。

●お申込み・お問合せ  
〒220-0801 宇都宮市上野市  
TEL 028-633-2141  
(代表) 028-633-2151